

大規模噴火のハザードマップ 〈降下火砕物（降灰）〉

下記の2種類の図を重ねて表示している。

- ・降下火砕物（降灰）が積もるおそれのある範囲(最大到達範囲)
- ・偏西風の影響を受けて降下火砕物（降灰）が積もりやすい範囲

降下火砕物（降灰）が積もるおそれのある範囲(最大到達範囲)

- ・過去50年間の風データを用いて計算し、全ケースすべてのそれぞれの厚さ別に最大到達範囲を示した。
- ・1回の噴火でこの範囲全てに降下火砕物(降灰)の影響が及ぶわけではない。

降下火砕物（降灰）が30cm以上積もるおそれのある範囲

降下火砕物（降灰）が20cm以上積もるおそれのある範囲

降下火砕物（降灰）が50cm以上積もるおそれのある範囲

偏西風の影響を受けて降下火砕物(降灰)が1cm以上積もりやすい範囲

偏西風の影響を受けて降下火砕物(降灰)が積もりやすい範囲

- ・過去50年間の風データを用いた計算から降下火砕物(降灰)が積もりやすい範囲を示した。
- ・降下火砕物（降灰）は偏西風の影響を受け、東側に分布することが多い。

記号の色と意味

想定火口



浅間山の山頂火口

降下火砕物（降灰）



降下火砕物(降灰)が積もるおそれのある範囲(最大到達範囲)



偏西風の影響を受けて降下火砕物(降灰)が積もりやすい範囲

0 2 4 6 8 10 km